



THE MAUREEN AND MIKE MANSFIELD FOUNDATION

Promoting Understanding and Cooperation in U.S.-Asia Relations since 1983

FOR IMMEDIATE RELEASE

July 28, 2011

連絡先

倉本照代、プログラマネージャー

電話：03-5403-7228

デービット・ボーリング氏 マンスフィールド財団副所長に

[ワシントン DC] モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団は、本日、デービット・ボーリング氏を財団の副所長に任命したことを発表した。マンスフィールド財団は米国とアジアの相互理解と協力を促進する非営利団体である。

「デービットはこれまでの仕事や米国議会での経験、そして以前マンスフィールドフェローとして培った日本やアジア関連の豊富な専門知識を財団にもたらしてくれるであろう」、「日米協力がかつてないほどにより親密で重要な現在において、彼の政界、法曹界そして日本での優れた貴重な経験は、当財団のプログラム、特にマイクマンスフィールドフェローシップに恩恵をもたらし、さらに発展させていくに違いない」と、当財団の理事会会長ウォルター・F・モンデール氏は述べた。

ボーリング氏は、財団の総合的な運営方針について、所長であるゴードン・フレーク氏に提言や戦略的助言を行う。同時に、米国議会が創設した中堅レベルの米国連邦政府職員のための日米政府間交流事業、マイクマンスフィールド・フェローシッププログラムのディレクターを務める。さらに、2009年に次世代の日本専門家の育成のために立ち上げられた「日米次世代を担うネットワーク」プログラムを含む財団プログラムの管理も行う。

ボーリング氏は、独占禁止法局で訴訟弁護士として働いていた米国司法省から、1999年から2001年まで第5期マンスフィールドフェローとして、フェローシッププログラムへ参加し、公正取引委員会、法務省、東京地方裁判所で研修を行った。また、司法省在任中、米国上院司法委員会の独占禁止小委員会委員長の反トラスト弁護士を1年

間勤めた。2007年から2010年まで、アーカンソー州選出の米国下院議員ビック・スナイダー氏の首席補佐官を勤め、2010年にはアーカンソー州下院2区の民主党予備選挙に立候補した。

当財団副所長として任命される直前まで、アーカンソー大学医学部の一部である健康改善のためのアーカンソーセンターで、上級政策・法務アナリストを務め、それ以前は、ミッチェル・ウィリアムズ・リトルロック法律事務所（the Little Rock law firm of Mitchell Williams PLLC）での弁護士、アーカンソー大学リトルロック校ロースクールでの非常勤教授等の法務関連の職務経験を持つ。

アーカンソー大学で学士号と法学博士号を取得。ロースクール卒業後、JETプログラムで英語教師助手として茨城県在住。帰国し、コロンビア大学で法学修士を修了後、米国通商代表部で法務書記として日本部局、法務顧問部局、金融サービス次席通商代表のもとで法律調査業務。その後、司法省入省。

ボーリング氏は、元フジテレビリポーターとして13年間働き、現在フリーランスのジャーナリストの笹栗実根氏と結婚し、クリストファー（8歳）とエレン（6歳）の二人の子供がいる。

モーリーン・アンド・マイク・マインスマンスフィールド財団は、生涯を通し米国のアジア理解を深め、アジア各国との関係を促進することに力を注いだマイク・マンスフィールド氏の長年の業績を発展させる501(C)3団体。当財団の交流事業、政策対話、研究・教育活動は、米国とアジア各国の対話の場を設け、政策に影響する潜在した問題を探索し、アジアと米国のリーダーのネットワークを構築し、アジアについての社会認識増進に貢献。ワシントンDC、東京、モンタナ州ミズウラに事務局を置く。

###